

発行所 鹿児島市秘書課
編集発行人 永井隆治
印刷所 南日本新聞社印刷局

かごしま 市政だより

出水の鶴を訪ねよう

鶴見バス予約募集

とき 1月10日・17日・24日・31日

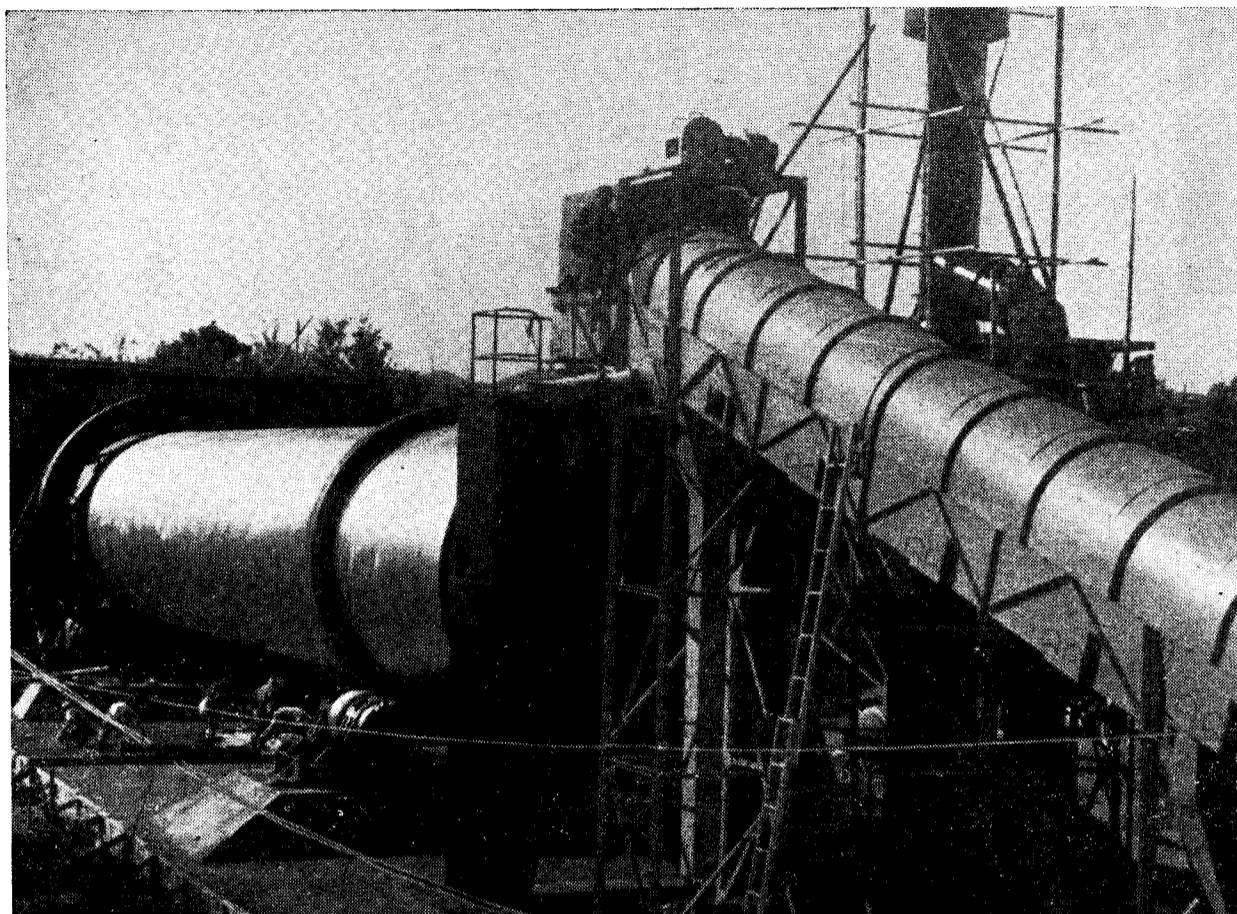
2月7日の各日曜日

市役所前8時発・17時帰着

大人850円、小人550円(12歳未満)

(昼食、休憩料を含んでいます)

申込 交通局営業課 ④2141、2145



(仕上げを急ぐコンポスト工場=手前はベルトコンベア、向側は回転発酵そう)

市内ではき出されるゴミは今から十年前の二十九年には一日平均七十五トン、五年後の三十四年には一一二トンでした。しかし、今日では倍以上の五一トンに達しています。このように年ごとにふえるゴミを一手に引き受けている清掃課では、昨年から「ゴミ容器による週二回の定期収集五年計画」をたてて進めてきました。しかし、各地域からの強い要望と協力にこたえこうの春には、これを三年計画に縮めました。ことし十一月末現在で、ゴミの定期収集を始めている家庭は四万二千世帯をこえ、これは収集地域全体の七十五%にあたります。現在、この定期収集は、町内会などの申込により、地域全部の意見がまとまつた所から実施していますが、すでに

生産できるコンポスト工場は立つことになります。

現在、清掃課が集めてまわっているゴミの量は、一日に約一五二トン。これを、三十トンは坂元の焼却場で処理する五十トンを差し引いてもあと七十二トンは捨てなければなりません。そこで、この機械焼却炉で、一日に四十トンを処理します。これが完成すれば、市内の各地域から集められたゴミはすべて衛生的に処理されるとになります。

来年中に全地区で定期収集なくなる悪評のゴミ箱

先进都市の試験成績によりますと、コンポスト工場で作られたたい肥は、普通のたい肥にくらべて窒素やリン酸などが非常にたくさん含まれています。これがわかつています。

したがって、普通の作物にはもちろんのこと、園芸作物や茶、タバコ、果樹などに特に効果があります。質のよいたい肥をたくさん

田上町広木に建設中だったコンポスト工場(じんかい高速たい肥化処理施設)が、運転を始めました。まだ、外側の工事が一部残っていますが、これも近く終り、今月二十五日には完成します。このコンポスト工場は、各家庭から集めてきたゴミをコンポスト(たい肥)にかかる施設で、ゴミを処理すると同時にたい肥をつくる「エハラ式」といわれるもので、一日の働きをする新兵器です。最初の施設で、今後のゴミ処理に大いに貢献するものと

その活躍が期待されます。一日に五十トンを処理この処理施設は、「エハラ式」といわれるもので、一日に約五十トンのゴミを処理することができます。ゴミは回転発酵そうに送られ

ることができます。

生産できるコンポスト工場は立つことになります。

現在、清掃課が集めてまわっているゴミの量は、一日に約一五二トン。これを、三十トンは坂元の焼却場で処理する五十トンを差し引いてもあと七十二トンは捨てなければなりません。そこで、この機械焼却炉で、一日に四十トンを処理します。これが完成すれば、市内の各地域から集められたゴミはすべて衛生的に処理されるとになります。

ゴミは少なくして捨てよう

「チリもつもれば山となる」ということわざがありますが、たまってたまって困るというのが最近のゴミの実情です。清掃課では、133人の清掃職員と32台の清掃車、3台の手車でこれらのゴミ処理にあたっていますが、その苦労はなみたいていのものではありません。

しかし、これらのゴミも皆さんのちょっとした工夫と心がけで、ずいぶん少なくなるものです。家庭で処理できるものはできるだけ自己処理して、ゴミは少なくて捨てましょう。

- ◎ 紙クズや木ぎれなどは、できるだけ各家庭で焼いてください。
- ◎ どうしても燃やせない場合は、大きな紙箱などはつぶし、木や竹などの長いものは、60センチぐらいに切って束ねておきましょう。
- ◎ 残飯や野菜クズなど、台所から出るゴミは、水分をよくきってから新聞紙かビニール袋などに包んで捨てましょう。
- ◎ ガラスやセトモノなどは、容器に入れないで別にしておきましょう。



(評判のよい容器によるゴミの定期収集)

